

令和5年度 シラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
衛生・防災設備	2単位	2	必修	設備工業科

1. 科目「衛生・防災設備」について

学習の到達目標	<p>工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、空気調和に関わる設備の設計・施工に必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1) 衛生防災に関わる設備について設計法や施工法と建築物との関係を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 衛生防災に関わる設備に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。</p> <p>(3) 衛生防災に関わる設備による生活環境の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
使用教科書	衛生・防災設備 (文部科学省)

2. 科目全体の評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
給水や給湯に関わる設備について水資源と上水道、給水や給湯に関わる機器と構成及び設備の設計を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	給水や給湯の方式、原理に着目して、衛生・防災設備に関する課題を見いだすとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を身に付けている。	給水や給湯に関わる設備について自ら学び工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察

3. 評価の方法

評価の割合は、内規によるものとし達成度をもって評定へ総括する。

観点別学習状況の表記区分については、内規によるものとし「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体的に学習に取り組む態度」の3区分を評価規準と設定し、学期ごとではA～Cの3段階で、学年末においては、1～5の5段階として評価を行う。

4. 年間指導計画表

学期	月	時間	学習内容	学習目標	評価方法
1 学期	4 5 6	18	第1章 給水・給湯設備 第1節 水資源と上下水道 第2節 給水・給湯に関する機器と構成	・水資源、上下水道の概要及び特徴について理解し説明できる。 ・給水・給湯に関する機器と構成について基礎的知識及び技術を習得し説明することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
	7	8	第1章 給水給湯設備 第3節 給水設備の設計	・給水給湯設備の基礎的知識や技術を習得し活用することができる。	
1学期の評価方法				定期考査、観点別評価を数値化し評価する。	
2 学期	9	8	第1章 給水給湯設備 第3節 給水設備の設計 (給水設備の設計)	・給水設備の設計に必要な知識や技術を習得し、実際に参考資料より機器選定ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
	10 11	16	第1章 給水給湯設備 第3節 給水設備の設計 (給湯設備の設計)	・給水設備の設計に必要な知識や技術を習得し、実際に参考資料より機器選定ができる。	
	12	4	第1章 給水給湯設備 第3節 給水設備の設計 (給湯設備の設計)	・給水・給湯設備についてのシステム・原理を理解し知識や技術を習得し活用することができる。	
2学期の評価方法				定期考査、観点別評価を数値化し評価する。	
3 学期	1 2 3	16	第1章 給水給湯設備 第3節 給水設備の設計 (給湯設備の設計) (配管設計における水の汚染防止)	・給水・給湯設備の設計法について理解し、建築物との関連性を踏まえて、取り扱うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・単元テスト ・行動観察
	3学期の評価方法				